

佐賀大学医学部附属病院小児病棟への定期配布が開始。 複数のメディアに贈呈式を取材していただきました。

全国の小児病棟の付き添いママに配ることをめざして開発したミールdeスマイリング缶。その最初となる定期配布が2019年11月より佐賀大学医学部附属病院で始まりました。

配布初回日にあたる11月5日には同大学病院の一室で贈呈式が行われ、小児病棟で付き添い中のお母さん二人が代表として出席し、理事長の光原から缶詰セットをお渡しいたしました。また、同大学小児科教授の松尾宗明先生が付き添い家族が置かれた過酷な環境を説明し、この缶詰配布を受け入れた経緯と思いについてお話しくださいました。

贈呈式の後には、病室にいるお母さんたちに「この缶詰は、みなさんのために作りました。病気の子どもを育てるお母さんたちを応援する多くの人の想いも詰まっています。付き添い、頑張ってください！」と声をかけながら、缶詰とともに、支援者の皆さんが応援して下さる気持ちもお届けしました。

贈呈式にはメディアの方が7社も取材に来てくださり、NHK、日経新聞、西日本新聞、中日新聞、佐賀新聞などで取り上げていただきました。病棟で付き添うお母さんたちの環境を社会的課題として捉え、私たちの活動を理解し共感して下さる記者さんたちとの出会いに感謝です。同大学病院には毎月1回お届けしており、20年5月までに7回配布しました。コロナ禍に見舞われていますが来期も継続していきます。

